

平成22年度 事務事業評価

整理番号

19-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	10	01
細事業名		学校情報化推進事業				

担当部局	
教育委員会事務局	
担当課等	担当課長の氏名
学校教育課	藤村 信行
担当者の氏名	
金子 隆行	

PLAN						
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市				
	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実				
	施策方針	2 学校教育施設の整備・充実	3 学力の向上と心身の育成	6 地域に開かれた学校づくり		
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	ICTを活用した魅力ある授業・わかりやすい授業を展開し、児童生徒の学力の向上を目指す。ICTを活用した校務の効率化を図るとともに、教職員のICT活用能力の向上を目指す。また、ホームページ等情報発信による開かれた学校運営を目指す。		平成26年度 事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		より良い情報化の推進による児童・生徒の学力の向上。 教職員のICT活用能力を高めることによる校務の効率化。 積極的な情報公開による開かれた学校。

DO	
平成21年度 事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 小学校31校の児童・中学校9校の生徒・教職員を対象に、教育用ICT環境の維持管理、校務用ICT環境の維持管理、情報発信用ICT環境の維持管理、学校ネットワークセキュリティ対策を行った。 小学校11校の情報教室に学習支援統合ソフトを購入した。
平成21年度 事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 維持管理を適切に行なったことにより、ICT環境につきものの不具合の回避または不具合が発生したときの対応をスムーズに行うことができた。これにより、学校の教育現場や校務への影響を最小限に抑え、健全なICT環境の維持及び利活用ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	9	7	財源内訳	国庫支出金	
	11	2,042		府支出金	
	12	5		起債	
	13	2,383		分担金・負担金	
	14	34,366		その他	
	18	388			
事業費合計		39,191	一般財源		39,191
			合計		39,191

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	整備したICT環境の維持管理を適切に実施でき、ICT環境利活用の推進ができたため。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業内容の見直しが必要である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業内容の見直しが必要である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	当事業費で新規にICT機器を整備するため計上していた費用は、平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業内容の見直しが必要である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業内容の見直しが必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業及び平成21年度学校情報通信技術環境整備事業費補助金(繰越)にて、教職員一人一台(計527台)の校務用パソコンの整備・各普通教室に一台(計305台)の普通教室用パソコンの整備・校内LANの整備・情報教室の整備等を行ったため、これを維持管理・活用していくための事業費は拡大する。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-15

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	03	01
細事業名		指導主事設置事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	野村 寛子

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>IV 生涯学習都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>② 学校教育の充実</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>3 学力の向上と心身の育成</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	施策方針	3 学力の向上と心身の育成
基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目 (施策)	② 学校教育の充実						
施策方針	3 学力の向上と心身の育成						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>学校教育の充実・振興を図るため、指導主事を配置し、学校教育全般にわたり専門的事項に関する指示と指導を行う。</td> </tr> <tr> <td>平成26年度事業の効果目標</td> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	学校教育の充実・振興を図るため、指導主事を配置し、学校教育全般にわたり専門的事項に関する指示と指導を行う。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)		
(どのような目的で事業を実施するか)	学校教育の充実・振興を図るため、指導主事を配置し、学校教育全般にわたり専門的事項に関する指示と指導を行う。						
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)						
<table border="1"> <tr> <td>5 学校、地域の安全確保</td> <td>6 地域に開かれた学校づくり</td> </tr> </table>		5 学校、地域の安全確保	6 地域に開かれた学校づくり				
5 学校、地域の安全確保	6 地域に開かれた学校づくり						

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 指導主事12人(本庁に6人、地域公民館に6人)を配置し、市内の各幼稚園及び小中学校に対し、学校教育全般にわたる専門的事項について、その識見と経験を生かした指示及び指導ができた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な数値指標の設定は困難であるが、教育指導者としての豊富な経験を生かし、適切な指導・助言により、学校・学級経営、授業改善、児童生徒指導、保護者対応など学校運営の円滑な推進に寄与している。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	23,976	国庫支出金		
	4	3,293	府支出金		
	9	1,326	起債		
	11	10	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		28,605
事業費合計		28,605	合計		28,605

CHECK						
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">指導主事の教育指導者としての経験や専門的知識が、指示や指導を通じて教育現場や教師に浸透しつつある。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	指導主事の教育指導者としての経験や専門的知識が、指示や指導を通じて教育現場や教師に浸透しつつある。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			指導主事の教育指導者としての経験や専門的知識が、指示や指導を通じて教育現場や教師に浸透しつつある。	
▲ 少し遅れている(少しできていない)						
× 遅れている(できていない)						
	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">条例等に基づく指導主事報酬や費用弁償、社会保険料等が経費の大部分であり、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	条例等に基づく指導主事報酬や費用弁償、社会保険料等が経費の大部分であり、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	条例等に基づく指導主事報酬や費用弁償、社会保険料等が経費の大部分であり、コスト削減の余地は無い。				
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION									
改善	<p>事業内容の方向性</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">複雑多様化しつつある教育現場への指示及び指導は、今後とも必要不可欠であり、現状の取り組みを継続する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	複雑多様化しつつある教育現場への指示及び指導は、今後とも必要不可欠であり、現状の取り組みを継続する。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
	A	A 現状維持	理由			複雑多様化しつつある教育現場への指示及び指導は、今後とも必要不可欠であり、現状の取り組みを継続する。			
	B 内容の見直し								
	C 統廃合・休止・終了								
	<p>事業規模の方向性</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校再配置計画と学校教育改革構想を推進するため、指導主事の増員が必要となっている。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	学校再配置計画と学校教育改革構想を推進するため、指導主事の増員が必要となっている。		B 現状維持		C 事業縮小
A	A 事業拡大	理由	学校再配置計画と学校教育改革構想を推進するため、指導主事の増員が必要となっている。						
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	04	01
細事業名		学校保健事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	鍛冶 宏美・山根 直樹

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校保健安全法に基づき、幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資する。また、幼稚園、小中学校の幼児児童生徒の事故災害について災害給付を行う。
事業の目的	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 就学前幼児を対象に就学時健康診断を実施するとともに、幼稚園及び学校管理下における事故災害に対する災害給付を行った。また、学校保健安全法に基づき児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	1,023	財源内訳	国庫支出金	
	8	105		府支出金	
	9	4		起債	
	11	144		分担金・負担金	
	13	140		その他	
	14	1			
	19	5,410	一般財源		6,827
事業費合計		6,827	合計		6,827

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">就学時健康診断の実施により小学校入学予定者の健康状態を把握し、心身ともに最良の状態での就学させることができた。また、学校保健安全法に基づく児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	就学時健康診断の実施により小学校入学予定者の健康状態を把握し、心身ともに最良の状態での就学させることができた。また、学校保健安全法に基づく児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	就学時健康診断の実施により小学校入学予定者の健康状態を把握し、心身ともに最良の状態での就学させることができた。また、学校保健安全法に基づく児童生徒結核対策委員会、教職員結核審査会を開催した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">日本スポーツ振興センターの災害給付掛金が主である。医師報酬は条例に基づくものであり、その他経費も必要最小限でありコスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	日本スポーツ振興センターの災害給付掛金が主である。医師報酬は条例に基づくものであり、その他経費も必要最小限でありコスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	日本スポーツ振興センターの災害給付掛金が主である。医師報酬は条例に基づくものであり、その他経費も必要最小限でありコスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	幼児児童生徒及び教職員の健康の保持増進は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	今後、事業対象となる幼児児童生徒教職員数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	05	01
細事業名		学校医委嘱事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	岡崎 尚子

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>IV 生涯学習都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>② 学校教育の充実</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>3 学力の向上と心身の育成</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	施策方針	3 学力の向上と心身の育成
基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目 (施策)	② 学校教育の充実						
施策方針	3 学力の向上と心身の育成						
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	学校保健安全法に基づき、幼稚園及び小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)						

DO	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	幼稚園及び小中学校に学校医17人、学校歯科医17人、学校薬剤師14人を委嘱し、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。また、新型インフルエンザ流行時には、拡大防止に向け学校・学級閉鎖の時期等、適切な助言を受けることができた。
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	1	34,561	財源内訳	国庫支出金	
	9	40		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	34,601
				合計	34,601

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由 学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置により、幼児児童生徒の健康管理及び教育現場の環境衛生の保持増進に努めることができた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由 条例等に基づく医師報酬や費用弁償であり、コスト削減の余地は無い。

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 幼児児童生徒の健康管理、教育現場の衛生管理は、学校教育の充実を図るための基礎となると事業であり、今後とも継続する必要がある。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 今後、事業対象となる幼児児童生徒数の減少が見込まれるが、同様の事業内容での継続が必要である。

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-18

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	06	01
細事業名		学務経費				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	山下 茂裕・野村寛子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 教員の指導力の向上を図り、児童生徒の学力向上と問題行動・不登校対策等を促進するため、教員研修や教育相談を実施するとともに、児童生徒が心にゆとりを持ちながら学校生活を送るための環境づくりや就学指導を進める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 若手教員を対象に教育大学教授による授業実践力開発講座を開催し、問題行動や不登校(傾向含む)の児童生徒の担任・保護者を対象に専門家による教育相談を実施した。また、心にゆとりを持つ環境づくりとして、小中学校音楽フェスティバルや特別支援学級ふれあい交流会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 音楽フェスティバルには、各校が数年おきに参加することとなり、小学校5校、中学校1校、プラスバンド6校が参加した。また、ふれあい交流会へは市内の特別支援学級在籍の児童生徒が参加した。通常授業以外での学習の場が設定できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	180	国庫支出金		
	11	320	府支出金		
	12	61	起債		
	13	2,172	分担金・負担金		
	14	134	その他		
	19	220			
			一般財源		3,087
事業費合計		3,087	合計		3,087

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生活の充実にも寄与している。事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ねに期待したい。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生活の充実にも寄与している。事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ねに期待したい。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	教員の指導力向上のためには、専門家による教員研修や教育相談は極めて有効な取り組みであり、各種行事の実施は児童生徒の学校生活の充実にも寄与している。事業効果の早期具現化は困難だが、今後の一定効果の積み重ねに期待したい。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施しているため、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施しているため、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	講師謝礼や教育相談委託料が中心であり、必要最小限の経費で実施しているため、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">教員の指導力向上は普遍的かつ継続的な課題であり、今後とも継続した取り組みが必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	教員の指導力向上は普遍的かつ継続的な課題であり、今後とも継続した取り組みが必要である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	教員の指導力向上は普遍的かつ継続的な課題であり、今後とも継続した取り組みが必要である。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">不登校の児童生徒が増加傾向にあるため、新たに不登校対策支援員を配置し、学校と家庭との連携強化を図りながら問題解消に取り組みたい。また、障害のある幼児児童生徒の現状を的確に把握しながら就学指導の充実も検討したい。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	不登校の児童生徒が増加傾向にあるため、新たに不登校対策支援員を配置し、学校と家庭との連携強化を図りながら問題解消に取り組みたい。また、障害のある幼児児童生徒の現状を的確に把握しながら就学指導の充実も検討したい。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	不登校の児童生徒が増加傾向にあるため、新たに不登校対策支援員を配置し、学校と家庭との連携強化を図りながら問題解消に取り組みたい。また、障害のある幼児児童生徒の現状を的確に把握しながら就学指導の充実も検討したい。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	12	01
細事業名		教科用図書採択事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	野村 寛子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 小中学校において使用する教科用図書の公正かつ適正な採択を図るため、学校教科用図書選定委員会を設置し、調査・研究を行う。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 中学校で使用する歴史教科書の新刊があったため、選定委員会を設置して調査・研究を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 選定委員会の答申を受けて、市教育委員会としての教科書採択を行った。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	16	財源内訳	国庫支出金	
	9	8		府支出金	
				起債	
				分担金・負担金	
				その他	
			一般財源	24	
事業費合計		24	合計		24

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものである。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものである。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものである。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">委員謝金は市の非常勤特別職に準じており、また、旅費は費用弁償であるためコスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	委員謝金は市の非常勤特別職に準じており、また、旅費は費用弁償であるためコスト削減の余地は無い。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	委員謝金は市の非常勤特別職に準じており、また、旅費は費用弁償であるためコスト削減の余地は無い。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由	国の関係法令に基づき、設置が義務付けられているものであり、改善の余地は無い。
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由	同上

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-21

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	01	04	01
細事業名		児童教職員健康管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	岡崎 尚子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 児童、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内小学校31校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。 なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。 また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	72	財源内訳	国庫支出金	
	11	2,048		府支出金	
	13	8,017		起債	
	14	682		分担金・負担金	
	18	204		その他	
事業費合計		11,023	一般財源		11,023
			合計		11,023

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	学校設置者として児童、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	児童、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。
	A 事業拡大		
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-22

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	01	01
細事業名		小学校教育振興事業				

担当部局	
教育委員会事務局	
担当課等	担当課長の氏名
学校教育課	藤村 信行
	担当者の氏名
	服部 智昭

PLAN		
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実
	施策方針	3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校、家庭、地域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、自然体験活動を通して豊かな人間性の育成に努める。	平成26年度 事業の効果目標
		(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学習活動に要する消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動等に要するバス利用の支援、また、遠距離通学児童44人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	8	1,520	国庫支出金		
	11	13,765	府支出金		
	13	2,540	起債		
	14	1,720	分担金・負担金		
	19	686	その他		
			一般財源		20,231
事業費合計		20,231	合計		20,231

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校外での様々な学習活動が可能となり、また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校外での様々な学習活動が可能となり、また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			学校外での様々な学習活動が可能となり、また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION									
改善	事業内容の方向性								
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。		B 内容の見直し		C 統廃合・休止・終了
	A	A 現状維持	理由			当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。			
		B 内容の見直し							
		C 統廃合・休止・終了							
	事業規模の方向性								
<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">同上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	同上		B 現状維持		C 事業縮小	
B	A 事業拡大	理由			同上				
	B 現状維持								
	C 事業縮小								

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-23

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	02	01
細事業名		小学校教育振興備品整備事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	服部 智昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的に整備し、児童の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を図る。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内31小学校に教材備品や学校図書を整備した。図書購入は、全校で5,737冊である。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。教材備品や図書の購入が、児童の活動への意欲や読書活動の充実につながっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	383	国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	4,939
	13	89	府支出金		
	18	30,260	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		25,793
			合計		30,732
	事業費合計		30,732	合計	

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のベースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	同上
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号

19-24

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	03	01
細事業名		小学校就学援助事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	岡崎 尚子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 義務教育の機会均等に資するため、経済的理由又は心身障害によって就学困難な児童の保護者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、小学校での円滑な教育が実施されることを目的とする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的理由又は心身障害によって就学困難な児童の保護者に対して学用品費、給食費等を補助した。要保護認定者18人、準要保護認定者283人、特別支援教育就学奨励費支給51人。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 認定者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	20	18,234	国庫支出金	就学援助費補助金等	580
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		17,654
事業費合計		18,234	合計		18,234

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">対象となる児童の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる児童の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる児童の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)	B 現状維持
A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-25

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	02	02	04	01
細事業名		小学校教育推進事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	野村 寛子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実及び児童の基礎学力の向上 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 授業を円滑に実施し、きめ細かく行き届いた指導を行うために、複式学級のある学校に対し加配教員を配置し、発達障害児に介護職員を配置した。(スクールサポーターの配置) また、学校の教育力を高め、効果を各校に波及させるために、各種指定事業に対して補助を行った。介護職員10校に12人、心の教室相談員1校に1人、困難校加配3校に3人配置。教育実践研究指定:文部科学省1校、京都府教委3校、市教委6校。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称
財源内訳	4	3,404	国庫支出金	
	7	22,556	府支出金	1,338
	8	31	起債	
	9	107	分担金・負担金	
	11	726	その他	
	19	3,727		
事業費合計		30,551	合計	29,213
				30,551

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	01	04	01
細事業名		生徒教職員健康管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	岡崎 尚子

PLAN							
総合計画 (前期基本計画)	<table border="1"> <tr> <td>基本方針 (政策)</td> <td>IV 生涯学習都市</td> </tr> <tr> <td>計画項目 (施策)</td> <td>② 学校教育の充実</td> </tr> <tr> <td>施策方針</td> <td>3 学力の向上と心身の育成</td> </tr> </table>	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	施策方針	3 学力の向上と心身の育成
基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市						
計画項目 (施策)	② 学校教育の充実						
施策方針	3 学力の向上と心身の育成						
事業の目的	<table border="1"> <tr> <td>(どのような目的で事業を実施するか)</td> <td>生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。</td> </tr> <tr> <td>事業の目的</td> <td>生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。</td> </tr> </table>	(どのような目的で事業を実施するか)	生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。	事業の目的	生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。		
(どのような目的で事業を実施するか)	生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。						
事業の目的	生徒、教職員の健康増進を図り、学校教育を円滑に実施する。						
平成26年度事業の効果目標	<table border="1"> <tr> <td>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</td> <td>検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。</td> </tr> </table>	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。				
(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)	検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、学校教育の円滑な実施とその成果を図る。						

DO			
平成21年度事業の実績	<table border="1"> <tr> <td>(何を対象に、何をしたか)</td> <td>学校保健安全法等関係法令に基づき、市内中学校9校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。 なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。 また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。</td> </tr> </table>	(何を対象に、何をしたか)	学校保健安全法等関係法令に基づき、市内中学校9校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。 なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。 また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。
(何を対象に、何をしたか)	学校保健安全法等関係法令に基づき、市内中学校9校の児童、教職員を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。 なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。 また、保健室等に常時必要な衛生消耗品等を購入した。		
平成21年度事業の効果	<table border="1"> <tr> <td>(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)</td> <td>検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。</td> </tr> </table>	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。
(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。		

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	1,119	財源内訳	国庫支出金	
	13	4,592		府支出金	
	14	267		起債	
	18	312		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	6,290	
事業費合計		6,290	合計		6,290

CHECK																		
評価	<table border="1"> <tr> <td>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</td> <td></td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td> <table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった
	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか																	
<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)													
○ 進捗している(できている)	理由			学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。														
▲ 少し遅れている(少しできていない)																		
× 遅れている(できていない)																		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか																		
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった												
○ 削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。																
▲ 少し削減の余地があった																		
× 削減の余地があった																		

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	A	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由	学校設置者として生徒、教職員の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。				
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
	B	事業規模の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。	B 現状維持	C 事業縮小	
A 事業拡大	理由	生徒、教職員検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。					
B 現状維持							
C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-28

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	01	01
細事業名		中学校教育振興事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	服部 智昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校、家庭、地域との連携を深めながら、学習活動はもちろん、社会奉仕活動、自然体験活動を通して豊かな人間性を育成に努める。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学習活動に要する消耗品費等のほか、校外での社会見学や体験活動、クラブ活動等に要するバス利用や選手派遣費用の支援、また、遠距離通学生徒35人に対しバス通学費等への補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、校外での社会見学や体験活動を行うことが、児童の心身の育成を図る有効な手段となっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	8	1,745	国庫支出金		
	11	10,942	府支出金		
	13	7,766	起債		
	14	6,360	分担金・負担金		
	19	3,833	その他		
一般財源					30,646
事業費合計		30,646	合計		30,646

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校外での様々な学習活動が可能となり、クラブ活動も活発に取り組まれている。また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校外での様々な学習活動が可能となり、クラブ活動も活発に取り組まれている。また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校外での様々な学習活動が可能となり、クラブ活動も活発に取り組まれている。また、遠距離通学に係る保護者負担の軽減も図られている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動・クラブ活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動・クラブ活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内で、学校ごとに創意工夫しながら学習活動・クラブ活動を展開しており、コスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	当面は現状の支援内容を継続するが、校外学習や体育大会等への選手派遣での一定の保護者負担もあることから、一層の充実を検討することが必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	同上
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-29

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	02	01
細事業名		中学校教育振興備品整備事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	服部 智昭

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 授業に必要な教材備品を整備し学習活動の支援を行う。また、学校図書を計画的に整備し、生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実させ、学力の向上を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内9中学校に教材備品や学校図書、クラブ活動に必要な楽器、器具類を整備した。図書購入は、全校で2,262冊である。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 国の基準に沿って不足している教材備品や学校図書の整備を進めているもの。教材備品や図書の購入が、児童の活動への意欲や読書活動の充実につながっている。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	601	国庫支出金	理科教育設備整備費等補助金	3,416
	12	225	府支出金		
	13	31	起債		
	18	19,215	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		16,656
事業費合計		20,072	合計		20,072

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	理科・算数教育に必要な設備(備品)を国の基準に沿って計画的に整備を進めている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の範囲内での整備のため、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	国の補助金も十分確保できない現状から、当面は現状のベースで整備を進めることとするが、一層の充実を検討することが必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	同上
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-30

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	03	01
細事業名		中学校就学援助事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	岡崎 尚子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 義務教育の機会均等に資するため、経済的理由又は心身障害によって就学困難な生徒の保護者に対して学用品費等を補助することにより就学の負担を軽減し、中学校での円滑な教育が実施されることを目的とする。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 経済的理由又は心身障害によって就学困難な生徒の保護者に対して学用品費、給食費等を補助した。要保護認定者18人、準要保護認定者225人、特別支援教育就学奨励費支給17人。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 認定者の就学に係る経済的負担を軽減することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	20	22,448	国庫支出金	就学援助費補助金等	445
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		22,003
事業費合計		22,448	合計		22,448

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	学校教育充実のため必要な事業であり、認定者の経済的負担を軽減することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	対象となる生徒の学年分布により予算規模は変動するが、関係法令に基づき援助の費目・金額を定めており、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	申請者世帯の実情の把握に努めるなど、認定基準と給付基準の両面から、公正・適正で、より円滑な援助が行える体制を作る必要がある。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)	B 現状維持
A 事業拡大	理由	補助対象費目について、平成22年度から国の補助要綱に追加があったクラブ活動費・生徒会費・PTA会費について、国に準じて追加する方向で検討する。(補正予算計上予定)			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-31

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	03	02	04	01
細事業名		中学校教育推進事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	野村 寛子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校教育の充実、生徒の基礎学力の向上及び不登校の未然防止や保健室登校生徒の支援 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 授業を円滑に実施し、きめ細かく行き届いた指導を行うために、発達障害児に介護職員を配置し、不登校の未然防止や、保健室登校の生徒の支援のために、心の教室相談員を配置した。(スクールサポーターの配置) また、学校の教育力を高め、効果を各校に波及させるために、各種指定事業に対して補助を行った。介護職員2校に2人、心の教室相談員9校に9人配置。 教育実践研究指定:文部科学省1校、京都府教委1校、市教委1校。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	4	2,053	国庫支出金		
	7	11,744	府支出金	京の子ども・夢未来体験活動補助金	504
	11	110	起債		
	19	2,173	分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		15,576
事業費合計		16,080	合計		16,080

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 スクールサポーターの配置により、授業等が円滑に実施できた。また、指定事業等に対して補助することにより、研究成果を各校に波及することができた。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 スクールサポーターの配置に係る経費が大部分であり、また、指定校等の補助金として、コスト削減の余地はない。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 学校教育の更なる充実のため、継続する必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後も、スクールサポーターの配置、指定事業等の充実を図るため。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-32

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	02	01
細事業名		幼稚園管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	山下 茂裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の3幼稚園を管理運営し、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して教育を行うことを基本とし、遊びや体験的な活動を通じた総合的な指導により、人格形成の基礎を培う教育環境を整える。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市内の3幼稚園に講師2人(臨時職員) やスクールサポーター3人(介護職員)等を配置するとともに、管理運営に要する経常経費の支出を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	1,044	国庫支出金	幼稚園就園奨励費補助金	32
	7	8,317	府支出金		
	9	323	起債		
	11	3,185	分担金・負担金		
	12	260	その他	幼稚園保育料	2,144
	13	943			
	18	370			
	その他	285	一般財源		12,551
事業費合計		14,727	合計		14,727

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	幼稚園における円滑な教育実践と運営管理がほぼできている。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削減の余地は無い。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	教材や老朽化した備品の更新等も抑制する中で、これ以上のコスト削減の余地は無い。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">事業内容は現状維持としても、教材や老朽化した備品の更新等を計画的に進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	事業内容は現状維持としても、教材や老朽化した備品の更新等を計画的に進める必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	事業内容は現状維持としても、教材や老朽化した備品の更新等を計画的に進める必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">保育所の統廃合計画の進捗に合わせ、就学前教育の場として、各町1幼稚園設置を視野に入れる必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	保育所の統廃合計画の進捗に合わせ、就学前教育の場として、各町1幼稚園設置を視野に入れる必要がある。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	保育所の統廃合計画の進捗に合わせ、就学前教育の場として、各町1幼稚園設置を視野に入れる必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-33

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	04	01	04	01
細事業名		園児等健康管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	岡崎 尚子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	園児の健康の保持増進を図り、就学前教育を円滑にする。
事業の目的	園児の健康の保持増進を図り、就学前教育を円滑にする。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	検診完全受診による疾病の早期発見・予防、健康の保持増進を図る。もって、幼稚園教育の円滑な実施とその成果を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校保健安全法等関係法令に基づき、市内幼稚園3園の園児を対象に、健康診断、保健衛生管理、その他保健指導・安全対策を行った。 なお、新型インフルエンザ流行時には、手指消毒液や石鹸・マスクを配備し、感染拡大防止策を講じた。 また、必要な衛生消耗品等を購入した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 検診受診により、疾病の早期発見、予防に有効であった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	77	財源内訳	国庫支出金	
	13	103		府支出金	
	18	82		起債	
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源	262	
事業費合計		262	合計		262

CHECK								
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施している。					
▲	少し遅れている(少しできていない)							
×	遅れている(できていない)							
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか							
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由	学校保健安全法等関係法令に基づき実施しているものであり、削減の余地はない。					
▲	少し削減の余地があった							
×	削減の余地があった							

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">学校設置者として幼稚園園児の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	学校設置者として幼稚園園児の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	学校設置者として幼稚園園児の健康管理の充実に努めるとともに、検診に関しては、受診しやすい環境づくりにも配慮する。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由	検診の実施について、医師や医療機関との連携をとり、引続き疾病の早期発見と予防に努める。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-34

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	02	01
細事業名		網野給食センター管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	山下 茂裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、園児児童生徒の心身の健全な発達に資する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 給食センターを管理運営し、網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に、1日約1,600食の給食を調理・配送した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	9	10	国庫支出金		
	11	12,830	府支出金		
	12	1,521	起債		
	13	19,116	分担金・負担金		
	14	67	その他		
	18	1,087			
	27	110	一般財源		34,741
事業費合計		34,741	合計		34,741

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 センター運営に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、今後は臨時雇用に移行する必要がある。また、施設や大型調理機器の老朽化が著しく、計画的な施設改修や機器更新が必要となっている。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 今後も網野町域の1幼稚園、6小学校、2中学校を対象に給食の調理・配送を継続する。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-35

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	04	01
細事業名		小学校給食管理運営事業				

担当部局	
教育委員会事務局	
担当課等	担当課長の氏名
学校教育課	藤村 信行
	担当者の氏名
	石河 智恵子

PLAN			
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	
	施策方針	3 学力の向上と心身の育成	4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、児童の心身の健全な発達に資する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野地域を除く市内小学校25校の児童に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	1,846	国庫支出金		
	7	13,222	府支出金		
	11	18,341	起債		
	12	31	分担金・負担金		
	13	61,217	その他		
	14	53			
	18	804			
19	49	一般財源		95,563	
事業費合計		95,563	合計		95,563

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION						
改善	事業内容の方向性					
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。	B 内容の見直し	C 統廃合・休止・終了
	A 現状維持	理由			平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。	
	B 内容の見直し					
	C 統廃合・休止・終了					
	事業規模の方向性					
<table border="1"> <tr> <td>B 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>A 事業拡大</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B 現状維持	理由	アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。	A 事業拡大	C 事業縮小	
B 現状維持	理由			アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。		
A 事業拡大						
C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-36

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	05	01
細事業名		中学校給食管理運営事業				

担当部局	
教育委員会事務局	
担当課等	担当課長の氏名
学校教育課	藤村 信行
	担当者の氏名
	石河 智恵子

PLAN			
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	② 学校教育の充実	
	施策方針	3 学力の向上と心身の育成	4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、生徒の心身の健全な発達に資する。	平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野地域を除く市内中学校7校の生徒に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	4	247	国庫支出金		
	7	1,872	府支出金		
	11	8,032	起債		
	12	14	分担金・負担金		
	13	32,279	その他		
	14	17			
	18	1,506			
19	38	一般財源		44,005	
事業費合計		44,005	合計		44,005

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 アウトソーシングによるコスト削減の観点から、学校給食の業務委託を進める必要がある。
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-37

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	06	01
細事業名		幼稚園給食管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	石河 智恵子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 3 学力の向上と心身の育成 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 栄養バランスのとれた安全・安心な給食を提供することにより、園児の心身の健全な発達に資する。 事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 峰山幼稚園児に対し、安心安全な学校給食を提供した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	4	249	国庫支出金		
	7	1,952	府支出金		
	11	430	起債		
	12	1	分担金・負担金		
	13	1,033	その他		
	14				
	18				
	19		一般財源		3,665
事業費合計		3,665	合計		3,665

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	給食調理に必要な人員の確保、給食備品等の更新などほぼ順調な管理運営ができており、学校給食が円滑に実施できている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	従来より光熱水費や燃料費等の経常経費の節減に努めるとともに、老朽化の進んだ給食調理機器の更新も極力修繕対応としており、コスト削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	平成21年度で給食調理の人材派遣が終了、業務委託を進める必要がある。また、調理機器の老朽化が著しく、計画的な機器更新が必要となっている。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">アウトソーシングによるコスト削減の観点から、給食の業務委託を進める必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	アウトソーシングによるコスト削減の観点から、給食の業務委託を進める必要がある。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	アウトソーシングによるコスト削減の観点から、給食の業務委託を進める必要がある。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-38

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	07	01
細事業名		地元農産物給食利用促進支援事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	石河 智恵子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校給食での地元農産物の利用拡大を図るとともに、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 学校給食における地元産米の使用に対して補助を行った。(ブレンド米と丹後産コシヒカリの単価差の一部補助) 網野給食センター及び自校給食を実施している全校に補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) おいしい丹後産コシヒカリを給食に提供できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
	19	950	国庫支出金	
			府支出金	農山漁村活性化総合推進事業補助金 950
			起債	
			分担金・負担金	
			その他	
			一般財源	0
事業費合計		950	合計	950

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	日本型食生活の形成と定着、また、地元産米の利用促進への理解が得られつつある。
	○ 進捗している(できている)		
	▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	× 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	京都府の100%補助事業である。	
○ 削減の余地がなかった			
▲ 少し削減の余地があった			
× 削減の余地があった			

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	京都府の100%補助事業である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	京都府の100%補助事業である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-39

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	04	08	01
細事業名		学校給食地場農畜産物利用拡大事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	石河 智恵子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 4 食育の推進
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 学校給食での地場農畜産物の利用拡大を図るとともに、農産物や農業・農村への関心や理解を高める。(事業実施期間H21～22) 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) H22で事業終了

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野給食センターにおいて、地場農畜産物の利用拡大献立の導入・実証を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) おいしい地元産の農畜産物を給食に提供できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	820	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	学校給食地場農畜産物利用拡大事業助成金	820
			一般財源		0
事業費合計		820	合計		820

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 2ヶ年の事業計画のとおり進捗している。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 (財)京都府学校給食会の定額補助事業である。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 C A 現状維持 B 内容の見直し 理由 2ヶ年事業につきH22で終了 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 C A 事業拡大 B 現状維持 理由 2ヶ年事業につきH22で終了 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号
19-40

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	01	02	07	01
細事業名		学校安全対策事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	学校教育課
担当課長の氏名	藤村 信行
担当者の氏名	古橋 大志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ② 学校教育の充実 施策方針 5 学校、地域の安全確保
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 登下校時の児童生徒を犯罪や事故から守り、地域ぐるみで子どもの安全確保と被害防止を図る。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 子ども安全パトロール車「にこにこカー」21台を小中学校等に配置し、登下校時のPTA等による見守り活動を支援した。「にこにこカー」は2~3校に1台ローテーションで配置されており、登下校時には毎日運行されている。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 具体的な指標設定は困難であるが、パトロール車として運行していることで、児童・生徒保護者、教職員に安心感を持たせることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	1,853	国庫支出金		
	12	562	府支出金		
	27	52	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		2,467
事業費合計		2,467	合計		2,467

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">子ども安全パトロール車「にこにこカー」は、児童生徒の登下校時のパトロールに有効利用されている。また、各学校においても、PTAや地域ボランティア等による見守り活動が活発に展開されている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	子ども安全パトロール車「にこにこカー」は、児童生徒の登下校時のパトロールに有効利用されている。また、各学校においても、PTAや地域ボランティア等による見守り活動が活発に展開されている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	子ども安全パトロール車「にこにこカー」は、児童生徒の登下校時のパトロールに有効利用されている。また、各学校においても、PTAや地域ボランティア等による見守り活動が活発に展開されている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">「にこにこカー」の運行に必要な燃料費、車検費用、損害保険料など必要最小限の維持管理経費であり、削減の余地は無い。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	「にこにこカー」の運行に必要な燃料費、車検費用、損害保険料など必要最小限の維持管理経費であり、削減の余地は無い。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	「にこにこカー」の運行に必要な燃料費、車検費用、損害保険料など必要最小限の維持管理経費であり、削減の余地は無い。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">引き続き「にこにこカー」の運行を継続し、PTAや地域ボランティア等による見守り活動の支援、助長が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	引き続き「にこにこカー」の運行を継続し、PTAや地域ボランティア等による見守り活動の支援、助長が必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	引き続き「にこにこカー」の運行を継続し、PTAや地域ボランティア等による見守り活動の支援、助長が必要である。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">平成21年度まで京都府が実施していた、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を引き継ぎ、スクールガードリーダーを配置して、現状の見守り活動の強化と促進を図ることとする。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	平成21年度まで京都府が実施していた、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を引き継ぎ、スクールガードリーダーを配置して、現状の見守り活動の強化と促進を図ることとする。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	平成21年度まで京都府が実施していた、「地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業」を引き継ぎ、スクールガードリーダーを配置して、現状の見守り活動の強化と促進を図ることとする。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							